

『青少年安心・安全ネット環境推進セミナーin敦賀』を開催



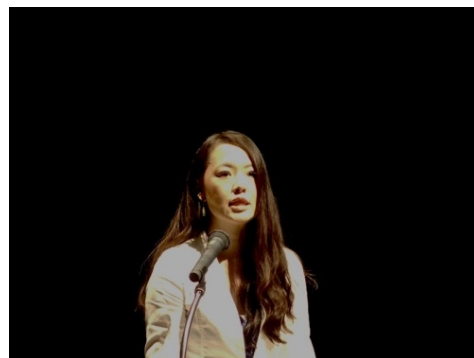
セミナーで挨拶する山中部長



引き続き挨拶する安達会長



講演する樋口氏



講演する鈴木氏



講演時のセミナー会場



意見交換で司会する山川座長

北陸総合通信局（局長 星 克明）は、平成28年5月22日（日）、福井県敦賀市のプラザ萬象において、北陸情報通信協議会（会長 久和 進 北陸経済連合会会長）、福井県青少年安心・安全ネット利用促進連絡会（座長 山川 修 福井県立大学学術教養センター教授）、敦賀市PTA連合会（会長 安達 益宏）との共催により「青少年安心・安全ネット環境推進セミナーin敦賀」を開催し、教育関係者等約170名の参加がありました。

冒頭、山中北陸総合通信局情報通信部長が「スマートフォンの利用が急速に増えている中、総務省では、青少年が初めてスマートフォン等を手にする、春の卒業・進学・新入学の時期に合わせ、関係府省庁・関係事業者等と協力して、『春のあんしんネット・新学期一斉行動』として集中的な取組を展開している。本日のセミナーが、デジタル時代を生きる子どもたちをネット被害から守るための対処方法やフィルタリングの活用法など、これから子どもたちがネットと上手に付き合っていくためのヒントにしていきたい。」と挨拶しました。また、敦賀市PTA連合会 安達会長からは、SNSが子供たちに与える影響は非常に強いものがあり、友達とのコミュニケーションを深めるための有効な手段ではあるが、その中でいじめが行われている悲しい現状があり、「怖いもの、悲しいもの」になってしまうという一面も持っている。そうならないように監視するのも親の務めでありSNSの良い点、悪い点をこのセミナーを通じてしっかり勉強したい。」と挨拶がありました。

セミナーでは、樋口 進 氏（独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 院長）が「青少年のネット依存症～実態と対応～」と題して、ネット依存の現状とその症状、依存者が示す心理的特徴、ネット依存者に発生してくる問題、家族の対応、そして、ネット依存からの回復の形、ネット依存から立ち直る対策等について講演されました。

また、鈴木 織江 氏（グリーン株式会社 政策企画チーム）が「正しく怖がるインターネット～事例に学ぶ情報モラル～」と題して、インターネットに公開する情報をもたらすトラブル（炎上騒動）等、情報モラルの大切さについて分かりやすく講演されました。

最後に、山川座長の司会で意見交換が行われ、参加者と講師の方々に活発な質疑応答が行われ、盛況のうちにセミナーを締めくくりました。